

スクラム



令和2年 11月号

互いに磨き合って！！

先月は、校外学習や学習発表会と学校行事がたくさんありました。その中で、友達の姿を見て「自分もできるようになりたいな」「どうすれば上手くできるかな」「4年生は、班の中心となってみんなをまとめてくれていたな」等、子供たちがなりたい自分のイメージをもつ場面がたくさんありました。特に、学習発表会の練習では、友達と一緒に合わせようとしたり、友達に負けないぞと切磋琢磨し合ったりする姿が見られました。学習発表会の後には、子供たちはさらに仲良く遊んだり、話し合ったりするようになり嬉しく感じています。

最近では、学校の改修工事により仕事をしておられる方に、みんなで「お疲れ様です」と教室から声をかけている姿も見られました。3年生の子供たちは、たくさんのお話を吸収したい思いに溢れ、教室以外のことにも興味を示しています。子供たちの「知りたい」をもっともっと伸ばしていきたいようにしていきたいと思います。



真剣なまなざし

理科「ゴムのはたらき」の学習では、子供たちが自分のゴムカーをどうやったらコントロールして動かすことができるのかを考えてきました。実験前の話し合いでは、「ゴムは伸ばすほど車を遠くへ走らせるよ」「〇〇さんよりも、もっと遠くへ走らせたい」「ゴムの本数を増やすと遠くへ行くかもしれないけど、のばしにくくなるから意外と走らないかも」等、たくさんのお話が出ました。

実験したデータを基に、ゴムカーをコントロールして設定したゴールゾーンに車を止める実験では、最初「データ見れば簡単だよ」と言っていた子供たちでしたが、実際にやると

難しく「あれー、おかしいな」「次は、このデータを使ってやってみよう」と自分たちで試行錯誤しました。その姿は真剣そのものでした。子供たちは夢中になって、自分の思いをゴムカーに乗せて走らせ、自分なりの答えを見つけることができました。



楽しかった校外学習

10月22日(木)に、3・4年生で国立立山青少年自然の家へ校外学習へ行ってきました。3・4年生混合の班で、協力したり、声を掛け合ったりしながら、沢登りやトントンの森探検を満喫しました。

3・4年生で協力して、最後まであきらめずに活動できました。来年は、お手本になって、グループを引っ張っていけるようにしたいです。
(高城 円花)

沢登りでは、少し危ないかなと心配になる場所がありました。でも、勇気を出して先へ進むこともできました。自然にたくさん触れることができよかったです。(林 幸汰郎)

グループのみんなと沢登りをしたり、遊んだりと楽しかったです。また、トントンの森では、みんなで問題を考えてゴールに着くことができました。
(伊藤 誠之助)



頑張った学習発表会

10月24日(土)に、学習発表会がありました。体を動かすことが好きな3年生は、体育科の発表「跳び箱」「南中ソーラン」の発表を行いました。「1つでも多く跳び箱の技を完成させたい」「見てくださるお客さんに元気を届けたい」という思いで、練習してきました。

何度も動画を見て、できなかったところを練習しました。恥ずかしがらずに自分の最高の力を出して踊ることができました。

(坂口 素子)



みんなと違う踊りに挑戦しました。分からないところが、できるようになるまで家で何度も練習しました。難しいところができるようになって嬉しかったです。(松本 小幸)

